



いちごまんじゅう × いちご市

鹿沼営業戦略課いちご市プロモーション係
☎(63)0154



鹿沼市は、市の特産品「いちご」を魅力発信の代表として選び、「いちご市」を宣言しています。
ポストやバス停はいちごデザインになり、毎年開催するいちごのイベント「いちごのもり」は人気を博しています。
こうしたいちごに関する取り組みは市民や学校、企業でも広がりをもせています。
今回、いちごの名産品「いちごまんじゅう」の開発に取り組み鹿沼商工高等学校商業部の生徒にお話を聞きました。



鹿沼商工高等学校商業部
部長 小林 由萌さん

あまずっぱい 青春いちごまんじゅう

いちごの生産量日本一の栃木県といちご市を宣言している鹿沼市にふさわしい、いちごを使った名産品を作ろうと同校商業部の生徒たちが開発しました。

いちごの風味が感じられる甘酸っぱいいちごミルク餡を、いちご形のカステラ生地で包んだ菓子です。

初めは、たい焼き式の菓子「いちご焼き」を試作しましたが、土産物にするには大量生産ができて日持ちすることが必要であるため、饅頭へと路線変更をして完成させました。

商品名は、「青春」と書いて「あまずっぱい」と読みます。

★第26回県高等学校生徒商業研究発表大会最優秀賞受賞。

いちごまんじゅうを開発するうえで大変だったことはありますか？

餡作りが大変でした。商品名にもなっているいちご特有の甘酸っぱさを表現するのが難しかったです。甘みと酸味のバランスを何度も調整し、満足のいく味ができました。

いちごまんじゅうを作るうえでこだわったポイントを教えてください。

饅頭の形が「いちご」という見た目のかわいさにこだわりました。栃木県内には、いちご味のお菓子はたくさんありますが、「いちごの形」をした商品はないんです。味も見た目も「いちご」というのが、他の商品にはない、いちごまんじゅうのセールスポイントです。

いちごまんじゅうをこれからどのように展開していきたいですか？

もっとたくさんの人に知ってもらって、鹿沼市の名産品にできるよう頑張りたいです。

これから鹿沼市の新たな名産品として全国で有名になるよう、応援していきますよ。

「シカノツノタチ発信局」もいちご市をバックアップ

魅力発見サイト「ジブンスマイルかぬま」では、市民ライター（愛称：シカノツノタチ）が鹿沼の魅力を発信しています。もちろん、いちご関連の情報も！



▲ライター miho 「いちごを探して」



▲ライターオズマ「鹿沼市検定（いちご）」

いちごまんじゅう販売場所

1箱6個入り 648円（税込み）

【鹿沼市限定】

鹿沼産のいちごを使用したいちごまんじゅう
新・鹿沼宿 / TKC いちごアリーナ / ヤオハン / JAかみつが奈佐原直売所 / 屋台のまち中央公園

栃木県産いちごを使用したいちごまんじゅう
県観光アンテナショップ「おいでよ！とちぎ館」 / JR宇都宮駅 / 東京ソラマチ など